【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2002-507642(P2002-507642A)
【公表日】平成14年3月12日(2002.3.12)
【出願番号】特願2000-537920(P2000-537920)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　18/12　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/28　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　18/80　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　18/12
Ｃ０８Ｇ　18/28
Ｃ０８Ｇ　18/80
Ｃ０８Ｇ　18/12
Ｃ０８Ｇ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月2日(2006.3.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　（ａ）平均イソシアネート官能価が少なくとも２でありかつ少なくとも２０重量％のジイソシアネートモノマーを含む有機ポリイソシアネート、（ｂ）一価アルコールおよび（ｃ）平均ヒドロキシル官能価が少なくとも１．８から３．２以下であるポリオールの反応生成物を含む発泡剤不含のポリイソシアネートプレポリマー組成物であり、前記プレポリマー組成物は、（ｉ）補助発泡剤の不在下に水と反応してフォームを製造するために十分な２～２０重量％のＮＣＯ含有分、（ｉｉ）１０．０重量％以下のジイソシアネートモノマー、および（ｉｉｉ）前記プレポリマー組成物を露点が－４０℃未満である乾燥雰囲気に少なくとも６ヶ月貯蔵したときに、プレポリマー組成物の粘度が１００，０００センチポアズを越えることを防止するために十分な量の、一価アルコールによりキャッピングされているポリイソシアネートを有する、プレポリマー組成物。
【請求項２】　請求項１記載のプレポリマー組成物と、
水を含む発泡性反応体とを、ポリウレタンフォームを形成するために十分な時間および温度で接触させることを含む、ポリウレタンフォームの製造方法。
【請求項３】　フォーム形成の際にフォームを取り巻く空気は５ｐｐｂ以下のジイソシアネートモノマーを含む、請求項２記載の方法。
【請求項４】　発泡性反応体は触媒および増粘剤をさらに含む、請求項３記載の方法。
【請求項５】　請求項２記載の方法により製造されるポリウレタンフォーム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００６】
本発明の第一の態様は、（ａ）平均イソシアネート官能価が少なくとも２でありかつ少なくとも２０重量％のジイソシアネートモノマーを含む有機ポリイソシアネート、（ｂ）一価アルコールおよび（ｃ）平均ヒドロキシル官能価が少なくとも１．８から３．２以下であるポリオールの反応生成物を含む発泡剤不含のポリイソシアネートプレポリマー組成物であり、前記プレポリマー組成物は、（ｉ）補助発泡剤の不在下に水と反応してフォームを製造するために十分な２～２０重量％のＮＣＯ含有分、（ｉｉ）１０．０重量％以下のジイソシアネートモノマー、および（ｉｉｉ）前記プレポリマー組成物を露点がー４０℃未満である乾燥雰囲気に少なくとも６ヶ月貯蔵したときに、プレポリマー組成物の粘度が１００，０００センチポアズを越えることを防止するために十分な量の、一価アルコールによりキャッピングされているポリイソシアネートを有する、プレポリマー組成物である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】削除
【補正の内容】